

2021年5月24日

## 2021年ゴールデンウィーク集客動向調査

# 2年連続でコロナの影響 2019年比で7割以上の大幅減

静岡経済研究所（理事長 一杉逸朗）では、「ゴールデンウィーク集客動向調査」の結果をとりまとめましたので、その内容をお知らせします。

### 調査結果の概要

1. 今年のゴールデンウィーク期間中に、静岡県内各地で行われたイベントや主要観光施設（220カ所）の人出は延べ264.5万人で、コロナ流行前の2019年と比較すると7割以上も減少した。
2. 多くの施設が休業し、ほとんどのイベントが中止・延期となった前年とは異なり、今年は観光施設を中心に半数超が例年通りの営業を行ったが、GW直前に東京都に対して緊急事態宣言が再発出されるなど全国的にコロナの第4波が襲来した影響を大きく受けた。
3. GW期間中における県内最大のイベント「浜松まつり」が凧揚げのみの無観客で実施されるなど、県内の主要イベントの多くが中止や延期、もしくは規模を縮小しての開催となった。また、屋内施設を中心に県内観光施設の多くで、感染防止対策が徹底された。
4. しばらくは“Withコロナ”の局面が続くことが想定される中、今後の事業継続を考えれば、コロナをきっかけに機運が高まっているデジタル化やネットを活用した非対面事業への注力が望まれる。
5. 今回の調査で“安・近・短”志向が鮮明になったように、コロナ禍で見直されつつある“地元の消費者”に対するアピールが重要になる。

※本件のお問い合わせ先 大石 彰男、劔持 瑞恵

# 2021年ゴールデンウィーク集客動向調査

## ～2年連続でコロナの影響、2019年比で7割以上の大幅減～

主任研究員：大石 彰男  
Oishi Akio

研究員：劔持 瑞恵  
Kenmochi Mizue

- 今年のゴールデンウィーク（以下、GW）期間中（11日間：4月29日～5月9日）に、静岡県内各地で行われたイベントや主要観光施設（220カ所）の人出は延べ264.5万人で、コロナ流行前の2019年（10日間：4月27日～5月6日、928.8万人）と比較すると7割以上も減少した。
- 多くの施設が休業し、ほとんどのイベントが中止・延期になった前年とは異なり、今年は観光施設を中心に半数超が例年通りの営業を行ったが、GW直前に東京都に対して緊急事態宣言が再発出されるなど全国的にコロナの第4波が襲来した影響を大きく受けた。
- GW期間中における県内最大のイベント「浜松まつり」が風揚げのみの無観客で実施されるなど、県内の主要イベントの多くが中止や延期、もしくは規模を縮小しての開催となった。また、屋内施設を中心に県内観光施設の多くで、感染防止対策が徹底された。
- しばらくは“Withコロナ”の局面が続くことが想定される中、今後の事業継続を考えれば、コロナをきっかけに機運が高まっているデジタル化やネットを活用した非対面型事業への注力が望まれる。また、今回の調査でも“安・近・短”志向が鮮明になったように、コロナ禍で見直されつつある“地元の消費者”に対するアピールも重要となろう。

### コロナ前と比べて人出は△7割以上減少

昭和の日（4月29日）から翌週の日曜日（5月9日）まで、平日の3日間を休むと11連休になった今年のゴールデンウィーク。しかし、昨年に続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた。

多くの施設が休業し、ほとんどのイベントが中止・延期になった前年とは異なり、今年は観光施設の約8割が例年通りの営業を行ったが（図表1）、GW直前に、東京都に対して緊急事態宣言が再発出され、大都市圏を中心にまん延防止等重点措置が適用されるなど、全国的にコロナの第4波が襲来。こうした状況下、今年のGW期間中の静岡県内の主なイベントや観光施設220カ所の人

出は延べ264.5万人と、コロナ第1波に見舞われた前年（2020年、42.5万人）からは+6.2倍の大幅増となったものの、感染拡大前の一昨年（2019年、928.8万人）と比較すると△71.5%と、コロナ前には遠く及ばなかった（詳細は29頁、図表6参照）。

本調査では、県内の観光施設や商業施設、イベント主催者に対して、GW期間内にどの程度の集客があったのかを調査・集計。集客数についてはコロナ感染拡大前の2019年と比較して分析してみる。また、感染防止対策や来訪者の特徴などについても尋ねてみた。

以下、GW期間中のイベントや観光施設を6つのグループに分けて今年の動向をみていく。

## 1. イベント (27先)

〔人出 14.8万人 2019年比△95.5%〕  
～ほとんどのイベントが中止や規模を縮小～

県内の主要イベントの集客数は14.8万人と、2019年と比べて△95.5%の大幅減となった。「例年通り開催した」との回答は1件もなく、多くのイベントが中止や延期、もしくは規模を縮小しての開催となった(図表1、2)。

2019年には200万人以上を動員したGW期間中における県内最大のイベント「浜松まつり」(浜松市)も、5月3日からの3日間、昼間の<sup>たて</sup>風揚げ

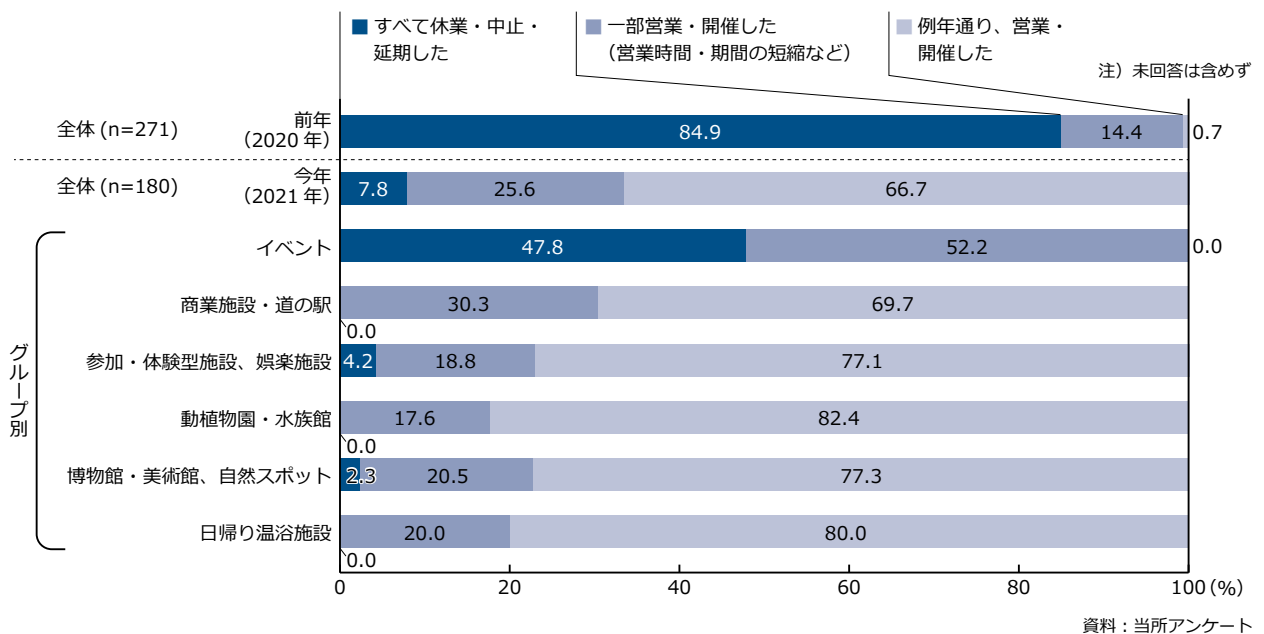
のみが無観客で実施されるなど、今年は規模が大幅に縮小された。そのほか、「シズオカ・サンバカーニバル」(静岡市)や「さがら草競馬」(牧之原市)が2020年に続いて中止になったほか、「藤まつり」(藤枝市)や「浅間大社 流鏝馬祭」(富士宮市)も規模が大幅に縮小された。

## 2. 商業施設・道の駅 (39先)

〔人出 143.1万人 2019年比△56.2%〕  
～多くが通常営業したが、集客数は大幅ダウン～

商業施設・道の駅の集客数は143.1万人で、2019年比△56.2%の減少となった。7割近くの

図表1 GW期間内(4月29日～5月9日)における施設の営業、イベントの開催状況



図表2 GW期間中に中止・延期、もしくは規模を縮小して実施された主なイベント

イベント(施設名)	2019年集客人数	2021年集客人数	内容
浜松まつり(浜松市)	209.7万人	—	昼間の風揚げのみ無観客にて実施。御殿屋台引き回しや練りなどの夜イベントは中止。
藤まつり(藤枝市)	18.0万人	2.6万人	例年実施していた集客イベントを取りやめて、規模を縮小して代替イベントを実施。
シズオカ・サンバカーニバル(静岡市)	13.5万人	—	2020年に続き中止。
浅間大社 流鏝馬祭(富士宮市)	9.0万人	2.5万人	神事流鏝馬式や武者行列の練行などを中止。規模を縮小して開催。
さがら草競馬大会(牧之原市)	3.0万人	—	2020年に続き中止。
由比桜えびまつり(静岡市)	—	—	2019年から3年連続中止。
ラブライブ!サンシャイン!! Aqours 5th Anniversary LoveLive! (掛川市、つま恋)	—	—	大ヒットアニメの舞台である静岡での声優による初の野外ライブ。5月1日、2日に開催される予定だったが、緊急事態宣言の発出を受けて一旦中止に。

資料：当所アンケートおよび報道資料等をもとに作成

施設が通常営業を行い、スーパーを併設するショッピングセンターなどを中心に、家族連れなどで賑わったが、2019年と比べると△5割超の減少となった。

ショッピングモールなどの大型商業施設では、GW期間中のイベント開催時には3密を回避するため、事前予約制の導入などにより参加人数を制限するなどの取組みをしているところが多かった。また、例年よりイベントの回数を少なくするなど規模を縮小している施設も散見された。

道の駅では、「富士川楽座」（富士市、11.2万人）や「道の駅伊豆ゲートウェイ函南」（函南町、6.1万人）、「道の駅伊東マリントウン」（伊東市、5.7万人）などが県外客を中心に人を集めたが、いずれも2019年と比べると△3割から△6割の減少となった。

2020年11月に新東名高速道路の島田金谷IC近くにオープンした「KADODE O O I G A W A」（島田市）は、GW期間中に3.6万人を集客、人気スポットとして賑わいをみせた。

**3. 参加・体験型施設、娯楽施設 (68先)**  
 [人出 54.0万人 2019年比△68.9%]  
 ~屋外の眺望施設などが人気を集める~

参加・体験型施設や映画館など娯楽施設の来場者数は54.0万人で、2019年比△68.9%と△7割近い減少となった。

まず、テーマパークなどの参加・体験型施設では、「三島スカイウォーク」（三島市、4.9万人）や「日本平夢テラス」（静岡市、1.8万人）などの眺望を満喫できる体験型施設が人気を集めたほか、「うなぎパイファクトリー」（浜松市、1.6万人）といった工場見学施設にも子供連れのファミリー層などが多く訪れた。ただし、3割程度の施設で感染拡大防止のため入場制限を行っていたこともあり、2019年比では大幅な減少となった。

娯楽施設では、4月29日から5月5日までの7日間にボートレースを開催した「ボートレース浜名湖」（湖西市、2.3万人）や5月3日から5日までの3日間レースを開催した「浜松オートレース場」（浜松市、2.0万人）が人を集めたが、2019

年比では△3割から△4割減の状況。一方、映画館は、春の新作が緊急事態宣言により公開延期が相次いだほか、感染防止のため席を大幅に間引いて上映したこともあり、2019年比では△7割超の減少となった。

3密回避や人気アニメの影響、さらには近年のアウトドアブームにより人気が高まっているキャンプ場は、感染拡大防止のため、多くの施設でキャンプサイトを間引いた上で事前予約制を導入して営業した。そのため、稼働率自体は高水準で推移したものの、集客数は2019年比△5割近い減少となった。

GW直前の4月28日に「エスパルスドリームプラザ」（静岡市清水区）内に開園したミニ遊園地「清水マリーナサーカス」についても、市内の子供連れなどのファミリー層を中心に賑わいをみせた模様。同施設は、清水地域で約20年振りの遊園地とのことで、今後の集客が期待される。

**4. 動植物園・水族館 (18先)**  
 [人出 26.7万人 2019年比△47.0%]  
 ~屋外施設が多く、減少幅は△5割弱にとどまる~

動植物園・水族館の来場者数は26.7万人で、2019年を△47.0%下回った。8割以上の施設が通常通りの営業を行い、屋外施設が多いため入場制限などを実施するところは少なかったが、△5割弱の減少となった。

「浜名湖ガーデンパーク」（浜松市、9.0万人）では、GWを含めた4月3日から6月6日までの期間、「スプリングフェスタ2021」としてイベントを開催。近隣の県西部地域を中心に人を集め、2019年比+0.1%と、今回の調査で唯一、集客実績がプラスとなった。

また、西部地域では、「浜松市動物園」（浜松市、3.4万人）も、身近な屋外の観光施設として子供連れに根強い人気で、減少幅は2019年比△2割にとどまった。

**5. 博物館・美術館、自然スポット (52先)**  
 [人出 19.3万人 2019年比△43.3%]  
 ~屋内型の博物館・美術館は集客に苦戦~

博物館・美術館、自然スポットの来場者数は



※ 県内区間：東名高速道路は静岡 I C～焼津 I C、新東名高速道路は新静岡 I C～静岡 S A スマート I C 間の 1 日あたりの平均断面交通量

19.3 万人と、2019 年を△43.3% 下回った。館内での見学が主体となる博物館や美術館を中心に、コロナ対策のため来場者の入場制限を実施したところも多く、集客数は伸び悩んだ。特に博物館や美術館では、普段から定期的にイベントを開催して集客を図っているが、3 密を回避するためイベントを控える傾向があった。

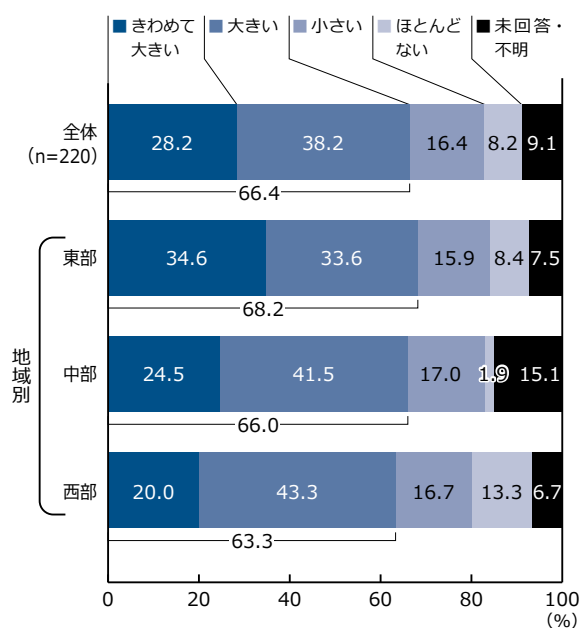
一方、3 密を回避できる屋外の自然スポットに人気集中。なかでも綺麗な空気や景色が満喫できる「白糸の滝」（富士宮市、2.4 万人）では、2019 年実績からの減少幅を△25.2%にとどめた。

**6. 日帰り温浴施設（16 先）**  
 【人出 6.8 万人 2019 年比△70.5%】  
 ～屋内施設中心のため感染防止に注力～

スーパー銭湯や温泉などの日帰り温浴施設の来場者数は 6.8 万人で、2019 年と比べて△70.5%減少した。

屋内施設での営業が中心となることから、コロナ対策に注力しており、3 割以上の施設が営業時間の短縮や入場制限を実施。また、県西部の施設では、隣県である愛知県からの来訪客が多かった模様。キャンプ場の近隣にある施設では、来場者数も比較的堅調に推移したようである。

図表 3 緊急事態宣言発出やまん延防止重点措置適用の影響



資料：図表 1 に同じ

首都圏に近いほど緊急事態宣言等の影響大

GW 直前に発出された緊急事態宣言の影響はどの程度あったのだろうか。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置適用の影響について尋ねたところ、全体では「きわめて大きい」（28.2%）、「大きい」（38.2%）をあわせて 66.4%と 3 分の 2 の事業者が「影響が大きい」と感じている（図表 3）。

また、地域別にみると、緊急事態宣言の対象地域である東京都など首都圏に近い東部ほど「影響が大きい」と感じている。

旅行への“安・近・短”志向が鮮明に

では、こうした状況の中、どのような客層が観光地へ足を運んだのだろうか。今年の来訪者の特徴について尋ねたところ、自市町内や近隣市町など県内からの観光客が多く、また少人数で家族連れが多いという特徴が浮かび上がった（次頁図表 4）。全国的にコロナの感染拡大が続き外出自粛が呼びかけられる中、旅行・レジャーに関して“安・近・短”（費用が安くて距離が近く日程が短い）を志向する傾向が見受けられた。一方で、東部地域の観光施設や日帰り温浴施設では、「県外からの来訪者が目立った」との回答が 5 割を超えるなど、GW 期間中でも場所によっては県外からの観光客が多かった様子である。

交通機関の利用状況も 2019 年比で大幅に減少

GW 期間中の交通機関の利用状況についても、総じて、緊急事態宣言が全国的に発出されていた昨年と比較すると大幅に増加したが、感染拡大前の 2019 年との比較では大きく減少した。

JR 東海管内における 4 月 28 日から 5 月 5 日までの新幹線の利用者数は、前年比 5.3 倍の 91.5 万人だったが、2019 年との比較では 3 割程度にとどまった。また、JR の静岡近郊区間の定期外利用人員は 46.0 万人で前年比で 4.4 倍、2019 年との比較では 5 割と半減した。

一方、中日本高速道路(株)によると、同期間の東名・新東名高速道路の県内区間※における 1 日当

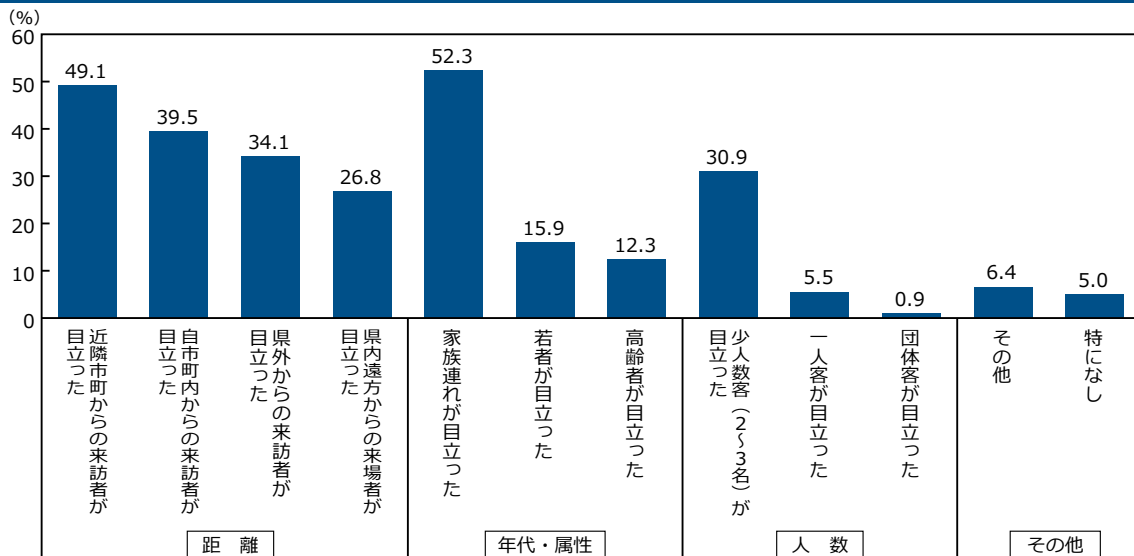
たりの平均交通量は、東名高速道路で44,200台（前年比+188%）、新東名高速道路で50,700台（同+209%）と、いずれも前年の約2倍だったが、2019年との比較では6割程度の水準だった。期間内に中日本高速道路管内で発生した10km以上の渋滞は、2020年が0回だったのに対し、今年は36回発生している。

富士山静岡空港の利用実績については、(株)フジドリームエアラインズによると、4月29日から5月5日に提供された計8,136席のうち利用客数は4,540人とどまり、利用率は55.8%となった。なお、前年同時期は全便を運休していた。

### 屋内施設を中心にコロナ対策を徹底

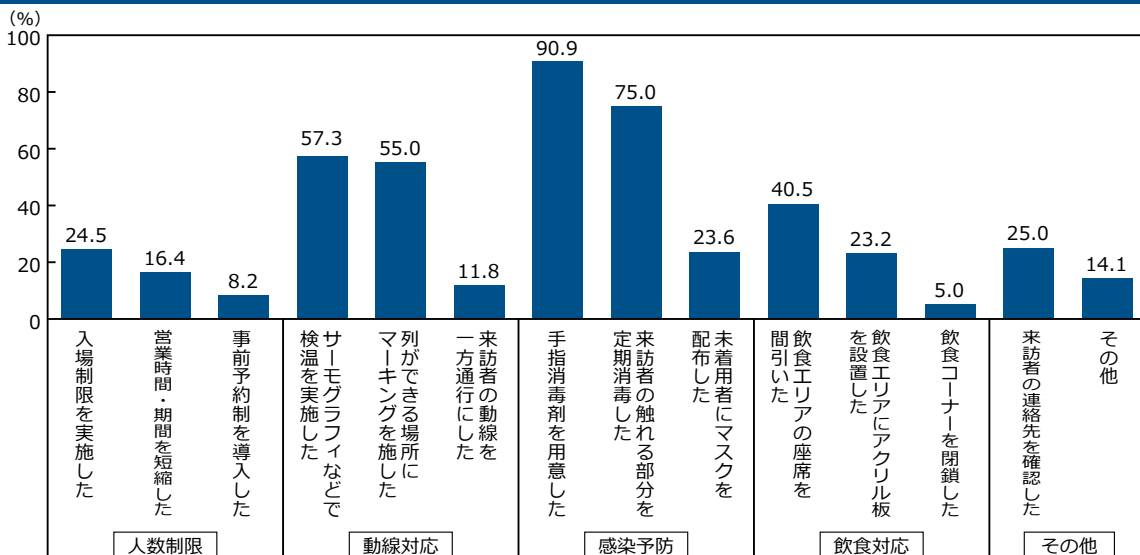
今回、調査対象となった観光施設や商業施設、そしてイベントの開催などでは、“人を集める”ことが前提となる以上、感染防止対策が何より重要となる。そこで、コロナ対策として実施したことを尋ねたところ、「手指消毒剤を用意した」（90.9%）、「来訪者の触れる部分を定期消毒した」（75.0%）、「サーモグラフィなどで検温を実施した」（57.3%）、「列ができる場所にマーキングを施した」（55.0%）など多くの感染防止策が講じられた様子がうかがわれる（図表5）。また、屋内の観

図表4 今年の来訪者の特徴（複数回答）



資料：図表1と同じ

図表5 感染防止対策の実施状況（複数回答）



資料：図表1と同じ

光施設では、「飲食エリアの座席を間引いた」(40.5%)など、密を防ごうという取組みも多い。

### ネットサービスの収益化や 地元消費者の取込みがポイント

今後もしばらくは“Withコロナ”の局面が続くことが想定される中、県内の観光施設およびイベント主催者は、事業上、どのような取組みが求められるだろうか。

まず、人を多く集めることが困難な以上、今後の事業継続を考えれば、コロナをきっかけに機運が高まっているデジタル化やネットを活用した非対面型サービスへの取組みが望まれる。今回の調査では、「SNSなどによる情報発信」については

回答者の4割が実施しているものの、「グッズなどのネット販売」、「YouTubeなどによる動画配信」については低位にとどまっており、こうしたサービスの収益化を考えていくことも必要となる。

また、コロナ禍で見直されつつある“地元の消費者”に対するアピールも重要である。今回の調査でも“安・近・短”志向が鮮明になったように、コロナをきっかけに地元の資源を見直す消費者が増えている。県外の一見客を取り込むだけでなく、地域と連携したイベントの開催など地元との関係づくりを深めることにより、近隣のリピーターを創出していくことも求められよう。

図表6 2021年GW 静岡県内イベント、観光施設の入出

イベント、施設名	所在地	入出(人)	2019年比(%)	イベント、施設名	所在地	入出(人)	2019年比(%)
富士川楽座	富士市	111,718	△ 33.9	三保松原文化創造センター「みほるべ」	静岡市	16,118	—
道の駅 伊豆ゲートウェイ函南	函南町	60,944	△ 51.1	道の駅 川根温泉	島田市	7,488	△ 54.3
道の駅 伊東マリンタウン	伊東市	56,955	△ 57.4	町宮露天風呂美女づくりの湯	川根本町	6,660	—
三島スカイウォーク	三島市	48,500	△ 58.2	静岡市立登呂博物館	静岡市	5,539	△ 67.6
浅間大社 流鏝馬祭	富士宮市	25,000	△ 72.2	静岡市ふれあい健康増進館 ゆ・ら・ら	静岡市	5,453	△ 41.1
白糸の滝	富士宮市	24,260	△ 25.2	中部地域その他 42カ所		702,757	—
富士山こどもの国	富士市	22,346	△ 35.9	<b>中部地域合計</b>		<b>911,517</b>	<b>△ 63.1</b>
道の駅 ふじおやま	小山町	21,776	△ 26.2	浜名湖ガーデンパーク	浜松市	90,318	+ 0.1
三島市立公園 楽寿園	三島市	16,600	△ 28.6	浜松市動物園	浜松市	34,472	△ 20.5
小室山公園つつじ祭り	伊東市	16,600	△ 53.5	道の駅 潮見坂	湖西市	31,648	△ 38.5
沼津 みなと新鮮館	沼津市	13,596	△ 65.6	はままつフラワーパーク	浜松市	28,458	△ 55.0
田貫湖キャンプ場	富士宮市	12,902	△ 30.2	ボートレース浜名湖	湖西市	23,048	△ 30.4
伊豆アニマルキングダム	東伊豆町	12,161	△ 61.8	静岡県立森林公園	浜松市	22,000	△ 62.7
伊豆修善寺 虹の郷	伊豆市	10,838	△ 30.1	浜松オートレース場	浜松市	20,428	△ 40.8
石廊崎オーシャンパーク	南伊豆町	9,533	△ 41.2	うなぎパイファクトリー	浜松市	15,804	—
伊豆の国パノラマパーク	伊豆の国市	8,781	△ 67.4	航空自衛隊 浜松広報館	浜松市	9,799	△ 72.5
道の駅 富士	富士市	8,292	—	県営遠州灘海浜公園	浜松市	8,990	—
御胎内温泉健康センター	御殿場市	5,052	△ 57.3	竜ヶ岩洞	浜松市	8,435	△ 62.7
東部地域その他 89カ所		692,166	—	浜名湖体験学習施設ウオット	浜松市	8,070	△ 35.2
<b>東部地域合計</b>		<b>1,178,020</b>	<b>△ 63.1</b>	浜松城	浜松市	7,791	△ 64.2
清水魚市場 河岸の市	静岡市	36,810	△ 32.3	道の駅 天竜相津花桃の里	浜松市	5,931	△ 18.2
KADODE OOIGAWA	島田市	36,200	—	アクトシティ浜松	浜松市	5,750	△ 95.2
静岡競輪場	静岡市	28,113	△ 16.1	ヤマハスタジアム	磐田市	5,396	—
藤 eDA! 頑張ろうウィーク(藤まつり代替イベント)	藤枝市	25,800	△ 85.7	西部地域その他 44カ所		229,175	—
草薙総合運動場	静岡市	22,738	△ 34.5	<b>西部地域合計</b>		<b>555,513</b>	<b>△ 84.7</b>
日本平夢テラス	静岡市	17,841	△ 76.1	<b>静岡県合計</b>		<b>2,645,050</b>	<b>△ 71.5</b>

資料：図表1に同じ

注1) データ公表が可能で、入込客数が5,000人以上のイベント、施設のみを掲載した

注2) 各地域の最下部には、入出が5,000人未満およびデータ公表を不可としたイベント、施設の数字を合算して記載した

注3) 入出の合計値は、今年度の実数が把握可能なすべての数値を合算

調査方法：GW期間中の主なイベントや観光・レジャー施設など、473先に調査票を発送、うち220カ所から回答を得た(回答率46.5%)